



8月6日の吹奏楽コンクール県大会に出場します！

2023年8月4日

先月末の7月30日(日)長野県伊那文化会館大ホールで行われた「長野県吹奏楽コンクール高等学校部門 中南信地区大会」B部門において、見事上位大会推薦校に選ばれ、今週末の8月6日(日)の県大会に出場します本校吹奏楽部(=阿南ブラスバンド、略して「ABB」)ですが、今日コンクール発表曲を先生方に演奏してくれました。



曲は、ケアンズ作曲の「インタラククション」です。



ご覧の通り、部員2人という最少人数での編成ですが、夏休み返上で、毎日朝早くから遅くまで練習に取り組んでいます。

6日の長野のホクト文化ホールでは、最高のパフォーマンスを披露してきて欲しいと思います。



がんばれABB!!

飯田の夏祭り「飯田りんごん」で踊ってきました

2023年8月5日

「りんごん、りんごん、ホイ、おいな〜♪」



4年ぶりの「飯田りんごん」に阿南高校連として生徒、職員の有志で踊りに参加してきました。

今回初めての参加でしたので不安もありましたが、踊っていると、お祭りを見にきた卒業生や本校生やその保護者から声を



掛けられたり、同じように参加しているそれぞれの団体の知り合いの方と声を掛け合ったりと、楽しいひと時を体験できました。

今回の出場を機に、同窓会でポロシャツ(デザインは本校の職員、小林先生)を用意してくださりました。ご支援、ありがとうございました。

りんごん踊り(基本)

1.獅子頭
右足、右足、左足、左足×2回
ししを持った感じで舞う
(16呼吸)

2.天竜川の流れ
左下から右、左、右!
右下から左、右、左!
(8呼吸)

3.夜空の花火
左下からバチ、バチ、バチ!
右下からバチ、バチ、バチ!
(8呼吸)

飯田市HP [飯田まつり第42回飯田りんごん](#)より

2学期始業式 “笑顔は幸せを引き寄せる”

2023年8月28日



2学期始業式の講話の一部を掲載します。

(前略)

1学期の終業式で、ユネスコの無形文化遺産に登録された「新野の盆踊り」「和合の念仏踊り」などの風流踊りのことを紹介し、ぜひ皆さんには、コロナの制限などがなくなり各地区で開催される「夏祭り」に参加してほしいと話しました。3年生の有志が、飯田りんごんに参加してくれました。その時の話なんですが、開始前、指定されたところで待っていると、乳児を抱



いた若いお母さんが声をかけてくれたのです。「先生、私のこと覚えている？」彼女は、14年前の卒業生で、今は旦那さんともう1人の4歳ぐらいの女の子の4人家族となっていました。こうやって、卒業後も阿南高校のことを思い続けてくれ、応援し続けてくれることに、とても感動しました。本当にありがたいですよ。

(中略)

さて、この夏、多くのスポーツのイベントが行われました。インターハイ、高校野球、世界水泳、サッカー女子W杯、バスケットボールW杯等々。今はハンガリーのブダペストで世界陸上が行われています。その中で、北口榛花さんが女子の槍投げで頂点の金メダルを獲りましたね。日本の女子選手がマラソン以外の陸上種目で頂点に立つのは、オリンピックも含めて初めての快挙だそうです。金メダルのインタビュー、彼女の笑顔がとても印象的でした。何でも母の“笑顔は幸せを引き寄せる”との言葉を胸に、常に笑顔で心にかけているようです。言葉も知らない、友達もない異国チェコへ1人志願して出向き、ひたすら努力し、苦しい時も常に笑顔で心掛けて、5年後にこのような結果を自ら引き寄せました。実力もさることながら、表情豊かな一面も多くの人の心を惹きつけたと思います。

新学期が始まるにあたり、学校に行くのが辛い・苦しいと感じていれば、1人で抱え込まず、担任や周りの先生、保健の先生、誰でも構いません。話しやすい人に相談してください。

皆さんが、笑顔で幸せな2学期が終えられるよう願って、始業式の講話とします。

※ 講話の全文は阿南高校「校長ブログ」(右上QRコードより見ることができます。)

2年「地域探究I」で新野の農村文化伝承センターへ行ってきました

2023年8月29日

本日の午後(5, 6限)、学校設定教科「探究」の「地域探究I」(2年生2単位)の授業で、阿南町新野の農村文化伝承センターと併設の歴史民俗資料館「風土と生活館」へ行ってフィールドワークをしてき



ました。



園祭り、早稲田人形、日吉のお鍛冶祭りなど)に関する資料などが展示されています。



併設の民族資料館は1987年に開館。旧家にあった土蔵を改修し、新野の歴史や風俗・民俗・暮らし・文化の展示物にふれられるところです。



多彩な姿で今日まで続く民俗芸能は、地域の活力の源として、大きな役割を果たしてきました。若い



い世代の生徒の皆さんが、町の生い立ちや先人の歩みを顧み、地域の自然や文化を愛しみ、大切にしていってほしいと願っています。

